

運転代行業対象 宇都宮で研修会

150人が出席

自動車運転代行業者による交通事故を防止しようとする「運転代行業運転者向け特別研修会」が1日、宇都宮市の県総合文化センターで開かれた。

県内には222社の認定業者があり、全国5位の研修会には約150人の代行業者が出席、安全運転についての講習を受けた。

県警交通企画課によると

2014年に自動車運転代行業者が起こした人身事故は15件で負傷者は18人、死者は2人だった。一般ドライバーでは自動車10台で年に1件の割合で事故が発生するのに対し、運転代行業では3〜4台で年1件と高い頻度で発生するとの統計もあるという。

主催の公益社団法人全国運転代行協会の丹沢忠義会長は「飲酒運転の撲滅に寄与するはずのプロのドライバーが事故を起こすことはあってはならない」と話した。

(岡野彩子)



事故事例研究を聴講する参加者たち＝県総合文化センター